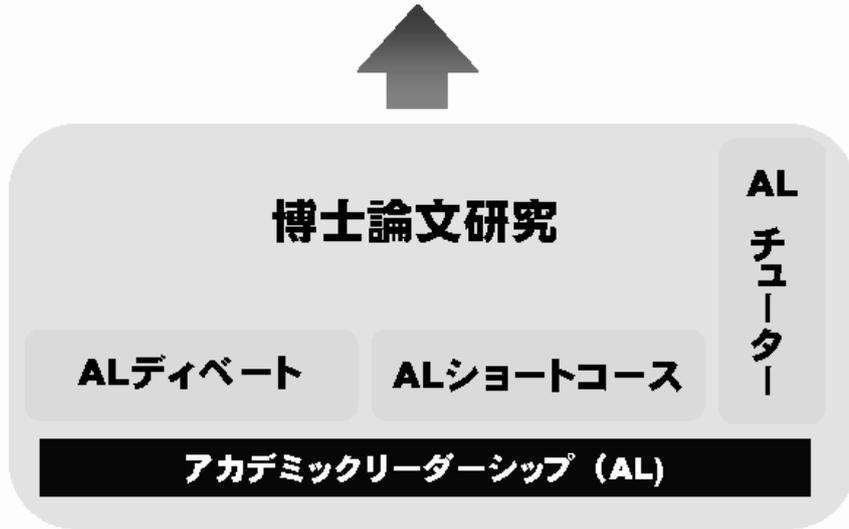


教育プログラムの概要及び採択理由

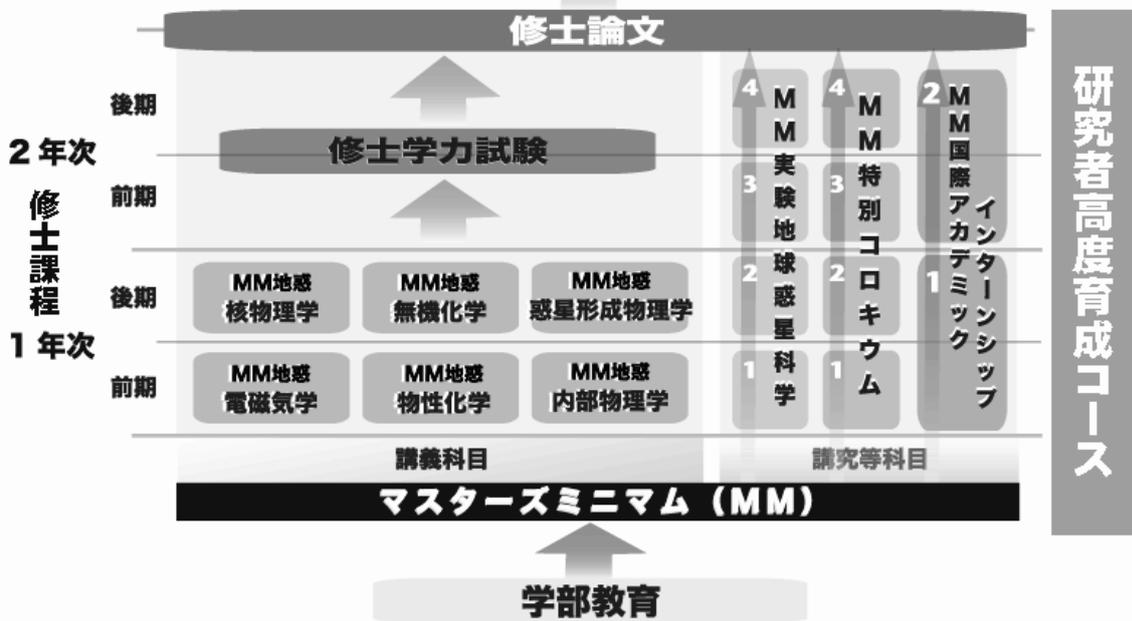
機 関 名	東京工業大学	申請分野(系)	理工農系
教育プログラムの名称	「研究者高度育成コース」の発展的強化 (地球惑星科学を学問的基盤とする指導的人材の育成)		
主たる研究科・専攻名	理工学研究科地球惑星科学専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取 組 実 施 担 当 者	(代表者) 綱川 秀夫		
<p>[教育プログラムの概要]</p> <p>本教育プログラムでは、平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブで採択され本学パイロット事業として発足し学内外で高い評価を受けている「研究者高度育成コース(Intensive Course for Advanced Study; ICAS)」をさらに発展させて、大学院生の広く深い基礎学力とその応用力を涵養し、地球惑星科学を学問的基盤とする指導的人材を育成することを目的とする。</p> <p>1. 博士課程における応用力・指導力の効果的養成</p> <p>新たに下記の博士課程教育プログラム「アカデミック・リーダーシップ(略称AL)」を立ち上げ、基礎学力の応用をはかるとともに教育研究指導力の養成をはかる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本専攻博士課程学生が講演内容、外部講師招聘などを企画・立案・運営する短期集中型大学院生向けレクチャー(ALショートコース)を毎年実施し、他大学大学院生にも公開する。 (2) 本専攻博士課程学生を「研究者高度育成コース」修士課程学生のチューターとして積極的に採用し、大学院教育の経験を通して研究指導力を養成する(ALチューター)。 (3) 英語によるディベートを主とした科目(ALディベート)を本専攻博士課程初年度に設置し、国際コミュニケーションの実力を高める。 (4) 他大学出身者等、多様な博士課程入学者に対応できる博士課程教育システムを構築する。 <p>2. 修士課程「研究者高度育成コース」の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 演習授業の拡充など、コース教育の内容である「マスターズ・ミニマム(略称MM)」の充実をはかる。 (2) 他大学出身者等、多様な修士課程入学者に対応できる修士課程教育システムを構築する。 (3) コース履修の到達点を確認するための修士学力試験を実施する。 <p>3. 持続的展開を可能にする教育力の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「研究者高度育成コース」担当教員全員による集団指導を維持して、大学院生の修学状況を的確に把握し適切な指導を実施する。 (2) 本教育プログラムの一部を担うOB教員等を活用し、多面的な教育指導をおこなう。 (3) 本プログラムに参画する分野にPD相当の教務補佐員を配置し、大学院生に密着した教育研究補助をおこなう。 			

地球惑星科学を学問的基盤とする指導的人材の育成

学位取得



博士後期課程



<履修プロセス概念図>

<採択理由>

大学院教育の実質化において、先行の「魅力ある大学院教育」イニシアティブで展開した「研究者高度育成コース」の修士課程教育を、博士後期課程に発展させる試みとして評価できるが、今回提案されている「アカデミック・リーダーシップ」という教育概念には新しい考え方や教育への提言が十分に明示されているとは言いがたく、更なる工夫が望まれる。

教育プログラムについては、院生の勉学意欲を高める効果が期待できる。一方では、修士課程と博士後期課程を一貫した教育プログラムが欠けており、修士課程のコース教育である「マスターズミニマム」を修了した院生に対する後期課程での効果的な教育プログラムの構築を期待したい。